

九州観光推進機構 活動レポート

感動がある。物語がある。九州



— 2014年2月号 —

◆ 1月のトピックス

○ 会員旅行会社担当者会議を開催（1月15日：福岡）

会員旅行会社10社の方々と、平成26年度上期の観光素材説明会（昨年9月実施）の反省と26年度下期観光素材説明会（5月実施予定）の協力について議論を行いました。説明会には会員旅行社以外の旅行会社への参加呼掛けを行い、企画担当以外の部署の社員の方々への参加の拡大を行い、九州への認知とファンを増やしていきます。また、25年度上期の会員旅行社の宿泊実績延べ人数は、連続前年を越えて全国平均より高い伸び率でした。さらに九州オルレ12コースの発表と、オルレ企画の推進のお願いをしました。

○ 「観光プロモーション in 羽田空港」に出展（1月17日～19日：東京）

航空プロモーション事業として、羽田空港国内線第2ターミナルでの観光庁主催「観光プロモーション in 羽田空港」に出展し、今回も「空行け！九州」イベントを中心に、温泉をテーマにした九州各県の観光PRステージを3日間行いました。また、「空行け！九州」応援隊のHKT48からも2名参加し会場を大いに盛り上げると同時に、その様子はメディアにも数多く取り上げられました。

九州7県の手湯や九州クイズ大会など九州にまつわる趣向を凝らした結果、3日間で約14,000人が訪れ、期待以上の結果となりました。



●手湯



●鹿児島県と大分県の合同PR

○ 「第7回九州観光ボランティアガイド大会 in 長崎」を開催（1月20日～21日：長崎）

九州の観光ボランティアガイドのレベルアップと広域連携などを目的として、九州各県・県観光連盟等で構成する「九州観光ボランティアガイド大会実行委員会」の主催（国土交通省九州運輸局後援、長崎県観光ガイド連絡協議会・長崎国際観光コンベンション協会協力）のもと、長崎県（主会場は長崎市・ホテルニュー長崎）において、『第7回九州観光ボランティアガイド大会 in 長崎 ～ひかりと祈り 光福の街 長崎～』を開催しました。大会には九州の観光ボランティアガイド関係団体から過去最多の107団体、602名（実行委員会関係者を含む）の参加がありました。

大会では初日に、鷲尾裕子氏（松蔭大学観光メディア文化学部 准教授）による基調講演の後、4分科会に分かれての小グループ討議、九州4県（長崎、大分、熊本、宮崎県）のガイド団体による事例発表を実施しました。

また、情報交換会には田上長崎市長にもお出でいただき、会場一体となって大いに盛り上がりました。



2日目は、パネルディスカッションを行った後、「長崎市内3コース」「波佐見」「平戸」「五島・長崎」の計6つのコースに分かれて、地元観光ガイドの説明による現地視察を実施しました。

九州観光ボランティアガイド大会は今回の第7回長崎大会で九州各県を一巡しましたが、次年度からの機構の次期観光戦略のもとでは、形を変えながらも継続していく予定にしています。



○ JSTA 観光地域づくり委員会ミニフォーラム in 九州を開催 (1月24日:福岡)

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)主催、九州観光推進機構共催による「JSTA 観光地域づくり委員会ミニフォーラム in 九州」が開催され、当日は自治体・民間企業等から約60名の方が参加されました。

JSTA 会長原田宗彦氏(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)の「2020年に向けたスポーツツーリズムの可能性」と題した基調講演のほか、事例紹介として佐賀県スポーツコミッション担当、宮崎県スポーツランド担当、広島県世羅町から取り組みの紹介がありました。

事例紹介の後にはトークセッションも行われ、スポーツツーリズムを進める上での組織、人材、スキル・ノウハウの必要性について活発な議論が行われました。参加された方からは、今後も優良事例の紹介や地域連携に関するノウハウを提供してほしいなど前向きな意見を多数頂きました。

機構としても、これらを踏まえスポーツツーリズムの取り組みについて引き続き積極的に取り組んでまいります。



●基調講演 JSTA 原田会長



○ 福岡モーターショーを開催 (1月24日～1月27日:福岡)

福岡モーターショー実行委員会(北部九州自動車産業アジア先進拠点推進会議、九州経済産業局、九州運輸局、九州大学、トヨタ自動車九州、西日本鉄道、九州電力、TNC テレビ西日本、RKB 毎日放送、西日本新聞社、福岡県、九州経済連合会、九州観光推進機構他)主催の福岡モーターショーが1月24日～1月27日まで開催されました。(機構の石原会長は実行委員会顧問)

入場者数は14万7000人を超え、過去最高数値となりました。

(前回は2012年約14万5000人) (*当イベントは隔年開催)



○ 九州・沖縄観光物産展に出展 (1月25日～26日:大阪)

大阪北部の主要ターミナルを会場にした九州各県の在阪事務所主催の「九州・沖縄観光物産展」へ出展し、九州の観光をPRしました。

ステージでの「空行け!九州」を初め、各県のプロモーションやゆるキャラショー、観光ブースでの九州ラリックイズ・抽選会など行いましたが、例年以上に天候に恵まれたこともあり、多くの来場者で賑わいました。



○ ABC朝日放送に協力（1月4日放送）

ABC朝日放送（関西ローカル）の特番「ナゾ解き 卑弥呼・邪馬台国」という、卑弥呼や邪馬台国の謎に迫りながら、九州や関西にゆかりのある土地を巡る番組に協力しました。高千穂の夜神楽、佐賀の吉野ヶ里遺跡、伊都国歴史博物館に、漫画家のやくみつるさんなどの出演者が取材に行き、謎解きと共にその土地の魅力を伝える内容となりました。



○ 小学館に協力（1月）

小学館の雑誌「BE-PAL」2月号（1月10日発売）の「日本全国ウォーキング旅」という特集企画で、屋久島及び九州オルレの天草・松島コースを紹介する内容に協力しました。

屋久島はあまり知られていないが魅力あるコースを、松島はコースの路地裏や海岸、絶景などオルレの魅力を十分に伝える内容を紹介し、誘客に繋がるものとなりました。

※ 「BE-PAL」…月刊/約12万部



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。（敬称略）

- ・株式会社ノア・エンタープライズ
所在地 長崎市万才町3番4号 大和生命ビル3階
代表者 代表取締役 中村 栄吾

○ 2月以降の主な事業

- ・ハッピーウォーク九州オルレセミナー（2月11日：福岡・電気ビル共創館3FカンファレンスA）
- ・九州のひなまつり広域振興協議会視察研修（2月17日～18日：人吉）
- ・タイ・海外旅行博出展事業「TITF 2014 #14」（2月20日～23日：タイ・バンコク）
- ・「第3回おもてなしフォーラム in 九州」（2月24日：鹿児島）
- ・韓国旅行社マスコミ等招請事業（2月28日～3月2日：佐賀・福岡）
- ・シンガポール・海外旅行博出展事業「NATAS Travel 2014」（2月28日～3月2日：シンガポール）
- ・九州旅ネット「黒田官兵衛」関連サイトオープン（2月下旬）
- ・九州旅ネット「スポーツキャンプ」関連サイトオープン（2月下旬）
- ・中国華南エリア及び周辺地域教育関係者等招請事業（3月上旬：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分）
- ・九州オルレ視察・研修招聘事業（3月4日～5日：大分・佐賀）
- ・九州オルレモニターツアー（3月8日：平戸コース、3月15日：武雄コース、3月29日：奥豊後コース）
- ・2013年度第3回評議員会の開催（3月12日：福岡・エクセルホテル東急）
- ・2013年度第3回理事会の開催（3月24日：福岡・ホテルニューオータニ博多）

《ご案内》

(一財)運輸政策研究機構と(公財)九州運輸振興センター共催による「運輸政策コロキウムのご案内」を同封しています。参加ご希望の方は、別添FAXにて九州運輸振興センターまでお申込み下さい。

◆ 事務局より

2013年の九州における外国人入国者数は125万人となり過去最高となりました。(前年比109%)
今後も九州7県一体となって、九州の自然、温泉、食などをPRしていきます。

[活動レポートの送付先(住所・代表者等)に変更がある場合は、下記までご連絡下さい。]

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 佐藤
福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 7F
TEL:092-751-2943 FAX:092-751-2944